

令和5年度事業報告

1. 事業の概要

わが国の経済は、コロナ禍からの正常化により、景気は緩やかに回復しているものの、世界情勢や円安の影響により物価上昇が進む中、所得の伸びが物価の伸びに追いついていないため、個人消費は力強さを欠いています。また、令和5年10月にはインボイス制度が施行され、税負担が増す等、シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものとなりました。

こうした中、当センターでは、事業目標を達成するため、様々な対策をしつつ、会員拡大や就業開拓、安全・適正就業の推進に取り組みました。

会員拡大においては、会員募集のチラシ配布や広報紙への記事掲載等を行った他、ポイントカード制度による会員獲得の促進を行い、また、4月には女性委員会を発足し、講習会や会員同士の交流会を実施する等、女性会員の拡大を目的とした活動に取り組みました。その結果、女性会員は前年度と比較し、プラス6名となりましたが、男性会員は病気や加齢により退会する人も多く、マイナス5名となり、年度末会員数は、前年比プラス1名の264名で、目標会員数に達することはできませんでした。

また、就業の面では、企業訪問や仕事募集のチラシ等を利用してPR活動を行った他、ポイントカード制度による就業機会確保等、受注の拡大に取り組みましたが、請負・委任事業及び派遣事業ともに、受注件数、契約金額は、事業目標に達することはできませんでした。

安全就業の面では、就業現場のパトロールを実施するとともに、交通安全教室の開催や、技術向上と安全就業を兼ねた講習会を行う等、会員の事故防止に取り組みましたが、5件の傷害事故と4件の賠償事故が発生しており、事故ゼロの目標を達成できませんでした。

普及啓発活動では、機関紙「シルバーふそう」の発行や、ホームページ、SNS、SMS等により情報発信を行いました。また、10月に木曾川扶桑緑地公園でボランティア活動を実施し、66名の参加がありました。

以下、事業目標に対する結果、事業実施報告、会員状況、事業実績、事務事業の主なものについて報告します。

2. 事業目標に対する結果

事業目標に対する結果は下記のとおりです。

(1) 会員数	264名	(達成率 87.1%)
(2) 請負・委任事業 受注件数	2,071件	(達成率 80.3%)
(3) 請負・委任事業 契約金額	99,558千円	(達成率 99.8%)
(4) 派遣事業 受注件数	40件	(達成率 97.6%)
(5) 派遣事業 契約金額	20,102千円	(達成率 85.9%)
(6) 傷害・賠償事故	9件	(達成率 0%)

3. 事業実施報告

(1) 会員の増強

新規会員の勧誘、入会促進に努めた結果、27名の入会、26名の退会となり1名増の264名となりました。

- ① 入会説明会は24回実施、38名の参加がありました。その内訳は、毎月第3木曜日に12回実施し、26名参加し19名が入会。女性限定入会説明会として6回実施し、6名参加し5名が入会。出張入会説明会を6回実施し、5名参加し3名入会しました。
- ② ポイントカード制度を活用し、会員の口コミ紹介による入会の促進を行いました。その結果、9名の紹介があり9名が入会しました。
- ③ 会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。
- ④ SNSを利用し、毛筆ペン講習会など各種講習会やこころろルーム開放日の開催など発信しました。また、SMSを利用して、エコバック作り参加募集、安全・適正就業強化月間、芝刈機による事故防止など、会員への情報発信を行いました。
- ⑤ 広報ふそうへの会員募集記事を年4回掲載しました。また役職員によるポスティングを2,545件配布しました。
- ⑥ 総合福祉センター、学習等供用施設等にポスターを設置しました。またチラシについては、中央公民館、総合体育館等に設置しました。
- ⑦ 扶桑町老人クラブ、扶桑町女性の会などに講習会の案内チラシを設置、配布しました。
- ⑧ 町広報無線にて、入会説明会開催の案内放送を実施しました。
- ⑨ ホームページ、機関紙「シルバーふそう」に会員募集PRを掲載しました。
- ⑩ シルバーの日のボランティア活動開催時に会員募集チラシを180件配布しました。
- ⑪ 退会会員の抑制を目的としたゴールド会員制度では3名増、4名減の10名となりました。

(2) 就業機会の確保

受注の拡大を図るため、パンフレットを利用して役職員が協力をして、就業機会の開拓に努めました。前年度対比、受託件数は79件減の2,071件、契約金額は866千円減の99,558千円となりました。

- ① ポイントカード制度を活用し、会員による就業機会の開拓受注を促進しました。その結果、1件の受注がありました。
- ② 会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。
- ③ SMSを利用し、就業案内や作業日程等の調整を行いました。

- ④ 広報ふそう 8月号に仕事募集のチラシを折り込み全戸配布しました。
- ⑤ ポスターやチラシを公共施設等に設置しました。
- ⑥ 扶桑町老人クラブ、扶桑町女性の会などに講習会の案内チラシを設置、配布しました。
- ⑦ 役職員による企業訪問を187件実施しました。
- ⑧ 既存職員による企業訪問を328件実施しました。公共施設へ定例訪問して掘り起こしを図りました。
- ⑨ 気軽に頼めるようなサービスについては、会員の状況やサービス内容などを検討しました。今後、要望などに柔軟に対応し、仕事の拡充に努めます。
- ⑩ 機関紙「シルバーふそう」を利用し、会員募集と併せて仕事のPRを掲載しました。
- ⑪ シルバーの日のボランティア活動開催時に仕事募集チラシを180件配布しました。
- ⑫ ローテーション就業の推進やワークシェアリングの徹底により未就業会員の就業確保に努めました。

(3) 女性委員会の活動推進

女性委員会を設置し、女性会員の拡大及び活動推進等に取り組みました。

- ① 女性限定入会説明会を6回実施し、6名参加し5名が入会しました。
- ② エコバック作り講習会を開催し、17名の参加がありました。
- ③ シルバーの日のボランティア活動に参加し、チラシ配布を行いました。
- ④ マダムのお茶会を実施し、29名の参加がありました。

(4) 福祉・家事援助サービス及び子育て応援事業の推進

高齢化、核家族化等により地域における福祉・家事援助サービスや子育て応援事業の要望に応じ、前年度対比13件減の161件実施しました。

- ① 町の高齢者福祉サービス事業「扶桑町在宅介護高齢者軽度生活援助事業」の受託に向けて取り組みました。
- ② 子育て応援事業「ころころルーム」と子供の一時預かり等の子育て支援事業の受注拡充に努め前年度対比45件減の62件実施しました。
- ③ 福祉・家事援助サービス事業を99件実施しました。

(5) 公の施設の指定管理業務の推進

公の施設の指定管理業務については、適切で効果的な管理運営を行いました。

- ① サングリーンハウス及び高齢者作業所（高雄シルバーハウス）の適切で効果的な管理運営を行いました。
- ② 公共施設で指定管理を検討している施設がある場合は、受注できるよう町に働きかけました。

(6) 職業紹介事業の実施

就業を希望する高齢者に対し、職業紹介事業を実施しましたが、紹介依頼紹介希望ともありませんでした。

(7) 労働者派遣事業の推進

会員の就業機会の拡大の観点から、県シ連と連携して労働者派遣事業の拡大に努めました。

- ① 事業実績は、前年度対比、受注件数は増減なしの40件、契約金額は3,642千円減の20,102千円となりました。派遣事業受託収益は、416千円減の2,335千円になりました。
- ② 役職員による企業訪問を18回、187件実施しました。
- ③ 既存職員による企業訪問を328件実施しました。

(8) 講習会の実施

高齢者に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を実施しました。

- ① 果樹剪定講習会に、19名の参加がありました。
- ② 刈払機取扱講習会に、17名の参加がありました。
- ③ チェンソー取扱講習会に、15名の参加がありました。
- ④ 毛筆ペン講習会に、26名の参加がありました。
- ⑤ 襖・障子張り講習会に、9名の参加がありました。
- ⑥ 刃物研ぎ講習会に、9名の参加がありました。
- ⑦ 救急指導講習会に、12名の参加がありました。
- ⑧ 松剪定講習会に、19名の参加がありました。

(9) 調査研究及び相談の実施

高齢者の就業率の向上を図るため、会員270名にアンケート調査を実施し96名より回答をいただきました。会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。

(10) 安全・適正就業の推進

賠償事故4件、傷害事故5件の発生がありました。適正就業については、ローテーション就業やワークシェアリングの推進に努めました。

- ① 賠償事故は清掃作業中に1件、刈払機などの草刈り作業で2件、自動車事故が1件発生しました。傷害事故は通勤途上で1件、清掃作業中の転倒による事故2件、剪定作業中に落下1件、蜂による事故1件発生しました。
- ② 安全委員会で、就業現場の安全パトロールを4回17ヶ所実施しました。
- ③ 会員の交通安全意識を高めるため、交通安全教室を実施しました。
- ④ 事務局だよりやポイントカード制度等を利用して、町の定期健康診断

の受診を促し、自主的な健康管理の自覚を促しました。

- ⑤ 健康相談・健康指導を年4回実施しました。また、休養室の健康増進器具ヘルストロンを活用してもらい、214名が利用しました。
- ⑥ 適正就業については、多くの会員に就業機会を提供するため、ローテーション就業やワークシェアリングの推進に努めました。

(11) 普及啓発活動の推進

様々な機会に、センター事業の目的や活動等を、広く町民にPRし、事業の普及、拡大、会員の増加に努めました。

- ① SNSを利用し、毛筆ペン講習会など各種講習会やこころろルーム開放日の開催など発信しました。また、SMSを利用して、エコバック作り参加募集、安全・適正就業強化月間、芝刈機による事故防止など、会員への情報発信を行いました。
- ② 総合福祉センター、学習等供用施設等にポスターを設置しました。またチラシについては、中央公民館、総合体育館等に設置しました。
- ③ 機関紙「シルバーふそう」を年2回（7月、1月）発行しました。また、「事務局だより」を年3回（6月、9月、2月）発行しました。
- ④ センターのホームページを22回更新し、情報を発信しました。
- ⑤ エコバック作り講習会の記事が尾北ホームニュースに掲載されました。
- ⑥ シルバーの日のボランティア活動開催時に会員募集チラシを180件配布しました。
- ⑦ 10月21日にボランティア清掃活動を実施し、66名が参加しました。
- ⑧ 県シ連と連携した広報活動を実施しました。

(12) 関係機関等との連携強化

町及び関係機関等との連携を強化に努めました。

- ① 町及び関係機関等との連携を強化することにより情報収集を行い、その情報を活用し、会員の就業に繋げるように努めました。
- ② 県シ連及び近隣センターとの連携を強化し、情報収集に努め、事業の発展拡充を図りました。

(13) 独自事業の調査・研究

新たな独自事業の開拓に向け調査・研究をし、就業機会が創出できるように努めました。